

第1回高校生 SDGs 選手権大会 ポスター発表の部 発表内容について

学校名	福岡県立京都高等学校
発表タイトル	竹林の秘めている可能性
設定した課題	放置竹林を整備して竹を活用する方法はないのか 竹林の持つ機能を活かすことでよりよい里山をつくれるのか
関連する SDGs のゴール・ターゲット	11、12、14、15
ポスターの説明	<p>私たちは竹林の整備により森・里・海・農業の循環サイクルを確立することが環境を持続可能なものとするために重要であると考えた。そのための提案として第一に放置竹林を「食べて解決」することをあげる。えぐみの少ない穂先タケノコを活用すれば、先端を切ったタケノコは大きく育たないため放置竹林の拡大防止につながる。地元ラーメン店と連携して穂先タケノコメンマをPRし、竹林に対する意識の変革を促したいと考える。第二に「全国竹チップ有機農業計画」を提案する。これは愛知県で行われている「モリビトの野菜プロジェクト」からヒントを得たものだ。このプロジェクトでは竹炭を活用しているが、これを竹チップに変更するのはどうだろうか。竹チップには竹炭より簡単に作ることができるなど利点がある。私たちは校内農園で様々な形状の竹を肥料としたレタス栽培を行い比較しているところだ。第二に竹林整備で持続可能な世界へ！</p>
制作の意図や アピールポイントなど	<p>森・里・海と私たちの身近な活動との深いつながりを分かりやすく伝えたいと思いまとめた。校内農園において4パターンの竹を用いたレタス栽培を行いその効果の検証を試みている。「食べて解決」では私たちが楽しみながらおいしく解決できる。</p>
苦労した点	<p>どうすれば多くの人に竹が秘めている可能性に気づいてもらい興味を持ってもらえるかという点</p>
その他(自由記載)	<p>私たちのポスターを見て少しでも皆さんが竹への興味を持っていただけたらうれしいです。</p>